

株式会社 田丸



【認証範囲】
製紙原料の卸売、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、古紙再生品の製造・販売



パーフェクトリサイクルをめざして みどりの地球を守るため



代表取締役社長 藤巻 一史

現在、母なる地球は病んでいます。それも重度の症状で、さらに進行しています。そして、その病気の原因が私たち人間であるとしたら…。私たちは一体どうしたらよいのでしょうか？

私たち、株式会社田丸は創業以来、古紙や産業廃棄物のリサイクルなどの事業活動を行いながら、その答えを探しています。その答えは残念ながらまだ見つかっていません。

それでも、私たちの仕事のみどりの地球へとつながっていると信じて、みどりの地球の守護者たる誇りと情熱を持って、これからも邁進していきたいと思っています。

「パーフェクトリサイクルをめざして！」
～みどりの地球を守るため～

地球レベルの環境保全...

だから今 リサイクル宣言

紙のリサイクル

新聞・雑誌・ダンボールなどは再生紙の原料としてリサイクルされます。50kgの古紙は1本の木に相当し、その分だけ森林の破壊が阻止できます。また、分別をせずに通常のごみとして紙を出すと焼却され環境に負荷を与えますが、リサイクルをすればコスト的にも環境的にも良いことになります。弊社は製紙原料問屋として回収、選別、圧縮、出荷、またリサイクル品の販売まで一貫して行っております。また、再生が難しいシュレッターや感熱紙などの古紙も“ミックス紙”として、製紙会社、行政との協力でリサイクルに取り組んでいます。

機密書類のリサイクル

個人情報や機密情報の保護は急務となっています。弊社では機密書類を漏洩せぬよう溶解処理し、再生紙の原料としてリサイクルしております。

プラスチックのリサイクル (RPFリサイクル)

マテリアルリサイクルの難しい廃プラスチック類は、RPF (Refuse Paper&Plastic Fuel)と呼ばれる固形燃料にします。RPFにすることにより燃焼効率や運搬性を高め、セメント会社や製紙会社のボイラー燃料としてサーマルリサイクルします。

プラスチックのリサイクル (マテリアルリサイクル)

プラスチックは便利な物質ですが、自然に分解されず、そのまま捨てると環境を著しく脅かすゴミになってしまいます。そのため以前は焼却や埋め立てといった処理が一般的でした。しかし、その種類ごとにきちんと分別すれば、もう一度原料としてリサイクルすることができます。このマテリアルリサイクルを行うことにより、環境負荷もコスト的な負担も減らすことができ、場合によっては有価物として買取も可能です。弊社では排出された廃プラスチック類を再選別、圧縮、破碎を行い運搬性を高め再生プラスチック工場へ出荷します。

その他のリサイクル

弊社ではその他にも下記に示す事業内容を基に、「今できるリサイクル」に努めております。

- ・発泡スチロールのリサイクル
- ・カレット(ガラス瓶)のリサイクル
- ・ペットボトル、プラ容器などのリサイクル
- ・一般・産業廃棄物収集運搬
積替保管有
- ・産業廃棄物中間処理
許可品目
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
- ・リサイクル製品の販売

環境保全プロジェクト

田丸グリーン基金活動

株式会社田丸は、古紙や産業廃棄物のリサイクルを通じて環境保護に貢献してきました。そしてより一層の環境貢献を考え「田丸グリーン基金」を発足しました。会社は利益の一部を、社員は報酬の一部を基金に社内「環境税」として納付し、環境保護団体(公益財団法人オイスカ・乙女高原ファンクラブ)への助成、環境教育や環境ボランティア派遣などの活動を行っています。



公益財団法人オイスカ



乙女高原ファンクラブ

学校や地域スポーツ団体への環境活動

田丸グリーン基金、ISO14001など社内での環境活動を推進する一方、学校や各種団体の見学受け入れ、説明会や講演会への講師派遣、各種イベントでの環境ブース出展、そしてリーグのヴァンフォーレ甲府エコスタジアムへの協力など、社外へも積極的に環境活動を推進しています。



ヴァンフォーレ応援リサイクルBOX
協力金をヴァンフォーレ甲府興水
社長に贈呈

(H29.3)

弊社リサイクル工場の見学にて、
環境教育をサポート



COOL CHOICE 推進キャンペーン参加



株式会社田丸はまた、環境省の推進する地球温暖化防止の国民運動「COOL CHOICE推進キャンペーン」にも参加しています。「COOL CHOICE推進キャンペーン」は、これまでの「チャレンジ25」から、よりCO2削減に向けた国民的プロジェクトです。



アダプトプログラムに参加し、
弊社周辺の環境美化に協力

環境理念・方針

環境理念

創業当初より「パーフェクトリサイクル」を理念として、古紙リサイクルから始まり、今日では、プラスチックなど多くのリサイクルを推進し、廃棄物の減量化に大きく寄与してきましたが、今後も経営理念である【※5Rを通じて全ての人の幸せとみどりの地球を次世代に送る】ために最大限の努力を行います。

環境方針

- ① 地域環境、地球環境の保全に努めます。
社員全員が環境保全の重要性を認識し、製紙原料卸売、廃プラスチックを中心とした産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、古紙等再生品製造販売などの環境事業活動を通じ、地球環境保全の一翼を担っていきます。
- ② 汚染の予防に努めます。
当社の事業活動の環境影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で汚染の予防に努めます。
- ③ 法的要求事項等を順守します。
環境に関する各種法令・規則並びに田丸が同意するその他の要求事項を順守することは当然とし、さらに厳しい管理の向上に努めます。
- ④ 環境目標を設定し、全員で目標達成をめざします。
環境方針を達成するため、環境目標を設定し、目標達成を目指します。
- ⑤ 環境管理システムの維持向上に努めます。
社内に内部環境監査員を置き、自主管理による環境管理システムの維持向上に努めます。
- ⑥ 社員に対して環境教育を積極的に行います。
環境教育を継続的に行い、社員のレベルアップと共に、それぞれの家庭へ、地域へ、と伝達・啓発・実行し地球保全へと繋げます。
- ⑦ 環境方針を積極的に外部へ公開します。
この方針は全社員及び関連要員に周知徹底すると共に、一般に公開します。



【認証範囲】
製紙原料の卸売、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、古紙再生品の製造・販売

会社概要

社名：株式会社田丸
代表者：藤巻 一史
資本金：35,000千円
設立年月：昭和58年9月
従業員数：74名(2019年3月)
関連会社：株式会社グリーン田丸



計量器付きパッカー車

沿革

- 昭和58年 9月 山梨県東八代郡石和町(現 笛吹市石和町)に設立
- 昭和60年 6月 甲府市下石田に甲府営業所開設
- 昭和61年 9月 石和町唐柏(現 笛吹市石和町唐柏)に倉庫配送〇開設
- 昭和62年12月 本社事務所を石和町唐柏(現 笛吹市石和町唐柏)に移転
- 平成 1年10月 産業廃棄物収集運搬及び中間処理許可取得
発泡スチロール再生処理工場開設
- 平成 3年 4月 機密書類再生処理パルパー導入
- 平成 5年 4月 雑ビンカレットストックヤードを開設
- 平成 6年10月 甲府商工会議所第一回環境貢献優良企業[環境大賞]受賞
- 平成 6年11月 廃棄物再生事業者登録(山梨県)
- 平成 8年 9月 廃プラスチック等固形燃料化(RPF)工場開設
産業廃棄物収集運搬範囲を16種類に変更
併せて積み替え施設登録
産業廃棄物処理範囲を8種類に変更
- 平成 9年 4月 資本金2000万円に増資
- 平成12年 9月 パルプモールド製造販売開始
- 平成14年 7月 南アルプス営業所開設
- 平成16年 3月 「ISO14001」審査登録
- 平成16年 3月 田丸グリーン基金設立
- 平成19年 4月 峡東営業所開設
- 平成19年 4月 クリーン田丸基金設立
- 平成21年 4月 代表取締役社長に藤巻一史就任

事業所一覧

総務経理事務所

山梨県笛吹市石和町唐栂 739
TEL 055-263-3611
FAX 055-263-5208

石和営業所

山梨県笛吹市石和町唐栂 811-2
TEL 055-263-3613
FAX 055-263-6116



甲府営業所

山梨県甲府市下石田 2-30-22
TEL 055-224-6116
FAX 055-224-6116



南アルプス営業所

山梨県南アルプス市浅原 241
TEL 055-282-6116
FAX 055-282-6116



峡東営業所

山梨県山梨市上石森 1100
TEL 0553-22-6116
FAX 0553-22-6116

